

第1回「安曇野の自然まるわかり観察会」

- 日時：6月21日（土） 9：30～12：00
- 場所：黒沢洞合自然公園（三郷）
- 講師：丸山 隆 様（信州野鳥の会）
- 参加人数：15名（大人10名、子ども5名）
- 事務局スタッフ：深澤係長、飯田、岡本、百瀬、市川
- 内容

たくさんの生きもの、
みつけたよ！

「身近な里山で春の生きもの」をテーマとして、安曇野市三郷地域の黒沢洞合自然公園をフィールドに自然観察会を実施しました。朝からときおり日の差す絶好の観察会日和でした。

公園内の歩ける場所を中心として、道沿いの雑木林の昆虫類や黒沢川の水生物、休耕農地の昆虫類、ため池の昆虫類や両生類を観察しました。時期的には初夏の生きものが見られる時期であり、カエル類を始め、花に集まる甲虫の仲間、トンボの仲間などを見ることができました。



はじめの会



梢の花の虫を教えていただく



ヤナギ林の虫について解説



池の生きものの観察

観察会の最後には、まとめとして講師の丸山さんから、以下の様なお話しがありました。

- ・里山ではオオブタクサやアレチウリ、ブタクサハムシなど外来種が多くなってきた。また松枯れの原因となるマツノザイセンチュウも北米原産の外来種である。
- ・身近な自然をいつも気にしていることで、その変化に気づく。参加者のみなさんもぜひ自分の身の回りの自然に注意を払って欲しい。

【教えてもらった生きものなど】

昆 虫…ボクトウガ幼虫、ジョウカイボンの仲間、アリの巣、コアオハナムグリ、ルリタテハ、コクワガタ、コフキゾウムシ、イタヤカミキリ、クワキジラミ、ゴミムシの仲間、スジグロシロチョウ、コムスジ、シロスジカミキリの付けた傷、シオカラトンボ、ヒョウモンチョウ類、シリアゲムシ、キチョウ、モンキチョウ、シロテンハナムグリ、エグリトラカミキリ、ヒメアシナガコガネ、コメツキムシ類、ヘリグロリンゴカミキリ、トビケラの幼虫、トゲマダラカゲロウ、ガガンボの幼虫、ヒメギス、オオソウムシが脱出した跡、コオイムシ、ルリボシヤンマ?、コガムシ、ガムシ、ショウジョウトンボ

両生類…イモリ、トノサマガエル

鳥 類…コゲラ、ホオジロ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ツバメ、ヤマガラ、キビタキ

哺乳類…クマの糞

魚 類…イワナの稚魚、メダカ

その他動物…マルタニシ

植 物…オニグルミ、ノリウツギ、クリ、ヤマウルシ、雑木林、クララ、ウツギ、アブラチャン、フトイ、ヒメガマ、サンカクイ、ジュンサイ、カズノコグサ、キショウブ



アリのつくった坑道

(木の中から木くずを出して道をつくります)



クワキジラミ

(綿の様に見えますが昆虫で、桑の害虫です)



ヒメアシナガコガネとコフキゾウムシ



クララ

(薬草でとても苦いです。オオルリシジミの食草)



トノサマガエル



コオイムシ



イモリ



マルタニシ